

▶ 〈01〉ブルドーザおよびスクレーパ

13-〈01〉-03	キャタピラージャパン エレクトリックドライブブルドーザ Cat D7E	'13.04 モデルチェンジ
------------	---	-------------------

Cat D7E エレクトリックブルドーザ（乾地車／湿地車）をモデルチェンジした。

ディーゼルエンジンで発電機を駆動し、稼働に必要な電力を供給する「エレクトリックドライブ」を採用したブルドーザである。新エンジンには、DOC/DPFの二重構造により、段階的に排出ガスをクリーンにするCatクリーンエミッションモジュールを搭載している。

新たに搭載したオートアイドルストップ機能により、一定時間アイドルリング状態が続くと、自動的にエンジンが停止し、燃料消費量やCO₂排出量を低減する。またエコモードにより、アイドルリングおよび後進時の燃料消費を低減している。

アキュグレード*対応仕様（ARO）を標準装備しており、アキュグレードの取り付けに必要な配線やブラケット、モジュール類を新車組立時にあらかじめ装備することで、将来、情報化施工を導入する際に、容易かつ低コストでアキュグレード仕様機へのアップグレードが可能である。

DPF再生警告などのインジケータが盛り込まれた視認性の高い大型ディスプレイを採用し、さらにAUX端子およびCD付AM/FMラジオも標準で装備している。

エンジンをオフにした後も、エンジンコンポーネントを十分に冷却するまでエンジンをシャットダウンしないディレイエンジンシャットダウンによりエンジンコンポーネントの信頼性、耐久性向上を図っている。

※アキュグレード：情報化施工製品。GNSS（GPS）、UTS（トータルステーション）に対応し、用途に応じて最適なシステムを選択可能。

表一 1 Cat D7Eの主な仕様

	D7E（乾地車）	D7E（湿地車）
運転質量 (t)	28.4	27.95
全長（ブルドーザ装置付） (m)	7.19 （リッパ付）	5.855 （ドローバ付）
全幅（ブルドーザ装置付） (m)	3.695	4.545
全高（キャブ上端まで） (m)	3.395	3.44
ブレード（幅） (m)	3.695	4.545
定格出力／回転数 (kW(PS)/min ⁻¹)	175(238)/1,700	
接地長 (m)	3.015	3.45
接地圧 (kPa)	76	43
価格 (百万円)	54.6	55.5



写真一 1 キャタピラージャパン Cat D7E エレクトリックブルドーザ

問合せ先：キャタピラージャパン(株) 広報室

〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

13-〈01〉-04	キャタピラージャパン ブルドーザ Cat D8T	'13.04 モデルチェンジ
------------	--------------------------------	-------------------

Cat D8T ブルドーザをモデルチェンジした。今回のモデルチェンジでは、新エンジンを搭載し、オフロード法 2011 年基準に適合した。

新たに搭載したオートアイドルストップ機能により、一定時間アイドルリング状態が続くと、自動的にエンジンが停止し、燃料消費量やCO₂排出量を低減する。

アキュグレード*対応仕様（ARO）を標準装備しており、アキュグレードの取り付けに必要な配線やブラケット、モジュール類を新車組立時にあらかじめ装備することで、将来、情報化施工を導入する際に、容易かつ低コストでアキュグレード仕様機へのアップグレードが可能である。

DPF再生警告などのインジケータが盛り込まれた視認性の高い大型ディスプレイを採用している。さらにAUX端子およびCD付AM/FMラジオも標準で装備するほか、オートエアコンディショナを搭載し、オペレータに快適な作業空間を提供している。

故障により、キーを抜いてもエンジンが停止しない場合、スイッチ操作でエンジンを停止することができるエンジン非常停止スイッチを採用している。また、着座感知機能のついたエアサスペンションシートを標準で装備している。オペレータが着席していない場合はトランスミッションおよび走行装置がロックし、誤動作を防止する。さらに、3点支持式のグラブハンドル & ステップによりキャブ昇降や整備時の安全を確保している。

ラジエータ、オイルクーラに、冷却性能や防腐蚀性に優れたアルミ製のコアを採用している。

新機種紹介

※アキュグレード:キャタピラーの情報化施工製品。GNSS (GPS), UTS (トータルステーション) に対応し、用途に応じて最適なシステムを選択可能。

表一 2 Cat D8T の主な仕様

		D8T
運転質量	(t)	42.05
全長 (ブルドーザ装置付)	(m)	7.795
全幅 (ブルドーザ装置付)	(m)	3.94
全高 (キャブ上端まで)	(m)	3.52
ブレード (幅)	(m)	3.94
定格出力/回転数	(kW(PS)/min ⁻¹)	231 (314)/1,850
接地長	(m)	3.205
接地圧	(kPa)	105
価格	(百万円)	65.85



※掲載写真は国内標準仕様と一部異なります
写真一 2 キャタピラー・ジャパン Cat D8T ブルドーザ

問合せ先: キャタピラー・ジャパン(株) 広報室
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

▶ 〈02〉 掘削機械

13-〈02〉-04	キャタピラー・ジャパン 後方超小旋回型油圧ショベル Cat 303.5E CR/304E CR/305E CR/305.5E CR	'13.01 モデルチェンジ
------------	---	-------------------

後方超小旋回型ミニ油圧ショベル 4 機種をモデルチェンジした。Cat 303.5E CR, Cat 304E CR, Cat 305E CR, Cat 305.5E CR は、それぞれ Cat 303.5D CR, Cat 304C CR, Cat 305D CR, Cat 305.5D CR のフルモデルチェンジ機である。

オペレータスペースには、ROPS 規格をクリアした新開発の 4 ポストキャノピを採用している。新たに採用した大型画面のフルグラ

フィックカラーモニタは、マシンチェックから各種設定、セキュリティ操作までを集約したマルチインフォメーション機能を搭載している。ボタン操作に対するショートカットキーを自由に設定できるため、作業に合わせてオペレータ好みのカスタマイズが可能である。

エンジン回転数をダイヤルアクセルの設定から下げるエコノミーモードを標準装備し、燃料消費量の低減を実現している。さらに、アイドリング時に自動的にエンジン回転数を下げ、騒音や燃料消費量を低減する自動デセル機能を標準装備している。

オフロード法 2006 年基準に適合するとともに、国土交通省 (超) 低騒音型建設機械にも適合している (一部機種については申請中)。

表一 3 Cat 303.5E CR/304E CR/305E CR/305.5E CR の主な仕様

	303E CR	304E CR	305E CR	305.5E CR
機械質量 (t)	3.495	3.725	4.595	4.845
バケット容量 (m ³)	0.11	0.13	0.16	
全長 (m)	4.73	4.82	5.45	5.67
全幅 (m)	1.78	1.95	1.98	
全高 (m)	2.5		2.55	
後端旋回半径 (m)	0.89	0.975	0.99	1.01
登坂能力 (度)	30			
接地圧 (kPa)	30.4	27.7	25.5	26.8
総行程容積 (ℓ)	1.8			2.4
定格出力/回転数 (kW(PS)/min ⁻¹)	23.7 (32.2) /2,400	30.0 (40.8) /2,200	32.7 (44.4) /2,400	
最大掘削深さ (m)	2.93	3.18	3.53	3.81
最大掘削高さ (m)	4.98	5.04	5.69	5.95
価格 (百万円)	5.129	5.681	6.000	6.330



※写真は一部オプションを含みます。
写真一 3 キャタピラー・ジャパン Cat 305E CR 後方超小旋回型ミニ油圧ショベル

問合せ先: キャタピラー・ジャパン(株) 広報室
〒158-8530 東京都世田谷区用賀 4-10-1

新機種紹介

13-〈02〉-10	日立建機	'13.10
	油圧ショベル ZX160LC-5B, ZX200-5B, ZX225US-5B, ZX225USR-5B	'13.11 新機種

本機は、排出ガス規制のオフロード法 2011 年基準に適合した油圧ショベルで、NOx（窒素酸化物）と PM（粒子状物質）の排出量を従来機に比較して大幅に削減し、日本・欧州（EU Stage III B）・北米（EPA Interim Tier 4）の排出ガス規制に対応している。

ZX200-5B, ZX225US-5B, ZX225USR-5B は、3 ポンプ 3 バルブ式の省エネ油圧システム TRIAS を採用し、従来機と比較して作業量は同等で約 17% の燃費を低減した。ZX160LC-5B は、油圧システム HIOS III の設定を燃費重視に見直して、従来機と比較して約 14% の燃費を低減した。また、4 機種共に 2020 年燃費基準で☆☆☆（三ツ星レベル）*1 を達成している。

快適な運転空間にするため、足元空間を 45 mm 広げ、シートのスライド幅を拡大している。シートのスライド機構内にボールベアリングを採用し、ガタが小さく前後移動の操作力も軽くなり扱いやすくなっている。

安全面では、上部からの落下物に対して労働安全衛生法に適合したヘッドガードおよび油圧ショベルが転倒してもオペレータを保護する ISO 規格の ROPS（Roll-over Protective Structures）適合キャブを採用している。後方の安全確認のためのバックモニタは、後方監視カメラの視界の範囲が広がり、カウンタウエイトの真下近くも見る事ができる。

オフロード法 2011 年基準適合車から新車保証プログラムにより、パワーラインの延長保証や 2,000 時間までのメンテナンスサービス*2



写真—4 日立建機 ZX200-5B 油圧ショベル

を提供し、トータルライフサイクルコストの低減と長期間の稼働に貢献すると思われる。

- *1 一般社団法人日本建設機械施工協会が定めた燃料消費効率を表す指標（JCMAS 規格）において、2020 年燃費基準として定められた評価値に対する達成率 100% 以上のレベル。
- *2 メンテナンスサービスは、レンタル会社への販売時には付帯されない。

問合せ先：日立建機(株) 商品開発・建設システム事業部 技術部
〒112-8563 文京区後楽 2-5-1

表—4 ZX200-5B ほかの主な仕様

	ZX160LC-5B	ZX200-5B	ZX225US-5B	ZX225USR-5B
標準バケット容量 (m ³)	0.6	0.8	0.8	0.8
運転質量 (t)	16.6	19.8	23.8	23.2
エンジン定格出力 (kW/min ⁻¹)	90.2/2,200	122/2,000	122/2,000	122/2,000
最大掘削半径 (mm)	8,870	9,920	10,110	10,110
最大掘削深さ (mm)	5,980	6,670	6,620	6,620
最大掘削高さ (mm)	8,890	10,040	11,230	11,230
最大ダンプ高さ (mm)	6,160	7,180	8,290	8,290
最大掘削力 (昇圧時) (kN)	112	158	158	158
回転速度 (min ⁻¹)	13.3	11.8	11.8	11.8
走行速度 (km/h)	3.4/5.3	3.5/5.5	3.5/5.5	3.5/5.5
全長 (mm)	8,620	9,660	8,970	8,970
全幅 (mm)	2,500	2,860	2,910	2,910
全高 (mm)	3,010	3,010	3,020	3,020
後端旋回半径 (mm)	2,550	2,890	1,680	2,000
最低地上高さ (mm)	470	450	450	450
標準小売価格 (万円)	1,510	1,930	2,120	2,060

注) 単位は国際単位系 (SI) による表示。価格は工場裸渡し、消費税別。

▶ 〈03〉 積込機械

13-〈03〉-06	コマツ ホイールローダ	'13.05 発売 モデルチェンジ
	WA470-7	

オフロード法 (*1) 2011 年基準に適合した大型ホイールローダである。WA470-7 は、NOx（窒素酸化物）と PM（粒子状物質）の排出量を従来機に比べて 50% 低減し、日本（特定特殊自動車排出ガス 2011 年基準）・北米（EPA Tier4 Interim）・欧州（EU Stage 3B）の排出ガス規制に対応したモデルチェンジ車である。大容量トルクコンバータ、ワイドレンジロックアップクラッチ、オートキックダウンとともに、新しいエンジン制御システム「コマツスマートローダロジック」を採用することにより、生産性と燃費性能の両方で高いレベルを達成し、燃料消費量を従来機に比べ 7% 低減 (*2) している。

安全面の特長として、車両後方確認用のリビューカメラ・モニタと、前面下部のガラスエリアを拡大した大型ピラーレス ROPS キャブを新たに搭載することにより、良好な視界を確保し、安全性

新機種紹介

を高めている。運転席には高精細7インチLCDモニターを採用し、安全かつ正確でスムーズな作業を実現するとともに、エコガイドンズ等の表示により省エネ運転のサポートを行っている。

さらに、パワーラインの保証延長と無償メンテナンスを取り入れたサービスプログラム「KOMATSU CARE (コマツ・ケア)」を提供している。コマツ・ケアは新車購入時に自動的に付帯され、トータルライフサイクルコストの低減と長期間の稼働に貢献するものと思われる。

- * 1. 特定特殊自動車排出ガスのNO_x (窒素酸化物)、PM (粒子状物質) 排出量の規制等に関する法律。
- * 2. 従来機との比較 (コマツテスト基準による)。実作業では作業条件により異なる場合がある。

表-5 WA470-7の主な仕様

運転質量 (t)	23.44
エンジン定格出力 ネット (JIS D0006-1) (kW/min ⁻¹) (PS/rpm)	203/2000 (276/2000)
バケット容量 ストックパイル用 (BOC付) (m ³)	4.2
最大けん引力 (前進時) (kN) [kgf]	192 [19600]
全長 (m)	8.825
全幅 (バケット幅) (m)	3.185
全高 (m)	3.500
ダンピングクリアランス (45度前傾 BOC 先端まで) (m)	3.185
ダンピングリーチ (45度前傾 BOC 先端まで) (m)	1.235
価格 (工場裸渡し消費税抜き) (百万円)	50.6



写真-5 コマツ WA470-7 ホイールローダ (一部オプションを含む)

問合せ先: コマツ コーポレートコミュニケーション部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

▶ <05> クレーン、インクラインおよびウインチ

13-(05)-08	タダノ オールテレーンクレーン ATF300G-6, ATF400G-6	'13.05 発売 新機種
------------	--	------------------

全世界への供給を目的とし、建設用クレーンに求められている作業性能の向上、安全作業のための制御装置、分解搬送性および走行能力の向上、環境対応などのニーズに応えるため、タダノファウン社 (当社100%子会社: ドイツ) と共同開発したオールテレーンクレーンである。

表-6 ATF400G-6, ATF300G-6の主な仕様

型式	ATF400G-6	ATF300G-6
最大つり上げ荷重		
ブーム (t × m)	400.0 × 2.7 (46本掛)	300.0 × 2.7 (46本掛)
フルオートラフィングジブ (t × m)	38.4 × 9.0 (4本掛)	38.4 × 9.0 (4本掛)
フィックスジブ (t × m)	50.2 × 8.0 (5本掛)	-
油圧チルトジブ (t × m)	47.7 × 8.0 (5本掛)	-
ラフィングジブ (t × m)	69.7 × 14.0 (6本掛)	69.7 × 14.0 (6本掛)
ブーム長さ (m)	15.0 ~ 60.0 (5段ブーム)	15.0 ~ 60.0 (5段ブーム)
フルオートラフィングジブ長さ (m)	2.3 + 10.3 ~ 31.0 (4段ジブ)	2.3 + 10.3 ~ 31.0 (4段ジブ)
フィックスジブ長さ (m)	6.0 - 24.0	-
油圧チルトジブ長さ (m)	2.0 + 3.5 - 47.5	-
ラフィングジブ長さ (m)	2.5 + 20.3 - 76.0	2.5 + 20.3 - 52.0
最大地上揚程		
ブーム (m)	60	60
フルオートラフィングジブ (m)	93	93
フィックスジブ (m)	85	-
油圧チルトジブ (m)	110	-
ラフィングジブ (m)	122	108
最大作業半径		
ブーム (m)	58	58
フルオートラフィングジブ (m)	66	58
フィックスジブ (m)	78	-
油圧チルトジブ (m)	82	-
ラフィングジブ (m)	86	62
価格 (税別) (百万円)	447	385

注) 価格は、クレーン+キャリヤ価格。両機とも仕様・装備により異なる

新機種紹介



写真—6 タダノ ATF400G-6 オールテレークレーン

ブームは、軽量で強度の高いラウンド形状ブームを採用、断面横方向へのサイズアップにより横剛性を向上させた（2機種共通）。

ATF400G-6は、作業用途にあった「フルオート・ラフィングジブ」や「フィックスジブ」、「油圧チルトジブ」、「ラフィングジブ」などの多様なジブ選択により、広い作業半径と高揚程作業を可能とし、76mのラフィングジブ装備時、最大地上揚程122mを実現した。

ATF300G-6は、52mのラフィングジブ装備により、最大地上揚程108mを実現した。

またATF400G-6は、ベースブーム先端にマストを立て、リンクとワイヤロープでブームを支えるアタッチメントPS（Power System）を装備した場合、ブームの縦たわみを低減し、特に作業半径が大きな領域において、その能力を発揮する。

ブーム伸長時、ブームのたわみに起因する荷振れを抑制する2つの機能、つり荷の地切り操作時、荷振れを防止する「リフト・アジャスタ」機能と、つり荷の接地後フック移動を抑制する「リリース・アジャスタ」機能を搭載している（2機種共通）。

旋回体装備状態での公道走行を実現するためにブーム及び起伏シリンダ、補巻ウインチ、カウンタウエイトを取り外した旋回体を装備した状態で、自動車登録が可能である。従来のように旋回体を取り外す必要がなく、分解搬送コストの削減や現場での組立・分解時間の短縮につながり、作業の効率化を実現、さらに構内移動時の車両重量も軽量化を図っている（2機種共通）。

環境への配慮として、クレーン部、キャリヤ部エンジン共に、欧州EUROMOT Stage3B適合のベンツエンジンを搭載（日本のディーゼル特殊自動車2011年規制相当）し、国土交通省の低騒音型建設機械の指定も取得している（2機種共通）。

問合せ先：(株)タダノ マーケティング部
〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-4-12

13-(05)-09	加藤製作所 ラフテレーンクレーン（伸縮ブーム型） SL-800Ri PREMIUM	'13.07 発売 新機種
------------	---	------------------

平成23年ディーゼル特殊自動車排出ガス規制適合エンジンを搭載した最大吊り上げ荷重75tの4軸ラフテレーンクレーンであり、自力着脱可能な別送式カウンタウエイトの装着により、従来機と比較して安定域での吊り上げ性能を向上させることができる。

ブームは6段油圧伸縮式で、最長45mまで伸長させることができ、近接作業半径での重荷重への対応とブーム伸縮の利便性を考慮し、ロックピン方式とフルパワー方式を融合させたブーム伸縮機構を採用している。

ジブは簡単・安全・省スペースで装着格納が可能な「EJIB」を装備し、二つの油圧シリンダにより起伏伸縮させて、任意の姿勢で吊り上げ作業を行うことができる。ブーム最縮小時の前方スペースがあれば装着格納が可能であり、運転席からの乗降回数は各々2回



公道走行姿勢



カウンタウエイト付作業姿勢

写真—7 加藤製作所 SL-800Ri PREMIUM
ラフテレーンクレーン（伸縮ブーム形）

新機種紹介

表一七 SL-800Ri PREMIUM の主な仕様

ブーム最大吊り上げ荷重	(t)	75
ジブ最大吊り上げ荷重	(t)	4.2
最大地上揚程 ブーム/ジブ	(m)	46.0/59.8
ブーム長さ/ジブ長さ	(m)	10.0 ~ 45.0/9.4 ~ 13.7
ブーム起伏角度/ジブ起伏角度	(度)	0 ~ 84/5 ~ 60
後端旋回半径 (CW 有/無)	(m)	3.55/3.80
総質量 (CW 有/無)	(t)	41.035 / 44.035
エンジン最大出力	(kW/min ⁻¹)	275/1800
エンジン最大トルク	(N・m/min ⁻¹)	1510/1300
最高走行速度	(km/h)	49
登坂能力	(tan θ)	0.59
最小回転半径 4 輪操向/8 輪操向	(m)	11.7/7.12
アウトリガ最大張出幅	(m)	7.6
全長×全幅×全高 (走行姿勢)	(m)	13.26 × 2.99 × 3.75
価格 (税抜き)	(百万円)	95

のみで高所作業もないことから、運転者の負担を軽減し作業の所要時間を大幅に短縮することができる。また、ジブの中間付近にシーブを取り付け、最大吊り上げ荷重 6t の主フック作業が可能であり、より高揚程での重荷重作業に対応できる。

IC カードシステム『KIC・S』は、盗難防止機能の他、走行時は燃料消費量や走行距離、クレーン作業時は燃料消費量やクレーンレバー操作による量的積算値など、多くの情報を記録保管できる。IC カードのデータは、カードリーダーとデータ管理用ソフトを用いてパソコンに取り込み、作業日報作成や保守点検時の参考値として利用できる。

タッチパネル式インフォメーションディスプレイは、走行時、クレーン作業時の瞬間燃費・平均燃費や走行距離、作業時間などの車両情報を大きな画面で見やすく表示することができる。

『eco スイッチ』はクレーン負荷の少ない作業や夜間作業などに使用し、クレーン操作時の最高回転数を、燃料消費量や騒音の少ない最適な回転数に調整できる。さらに、クレーンを操作していない時には油圧ポンプの吐出量を自動的に少なくする省エネ化機能『オートミニマムコントロール』を搭載している。

安全装置においては、2つの制限面を設定して自動停止させる領域制限機能に加え、負荷率を 80% から 100% までの任意の範囲で設定し自動停止させる負荷率制限機能を付加することにより、更に安全性を向上させている。

装備品では、プロジェクター式ディスチャージヘッドランプ、ヒータ付サイドミラー、リモコンサーチライト、風速計、燃焼式エアヒータ、赤外線 LED 内蔵監視カメラ、4 画面モニター、携帯通信システム等を標準またはオプション設定し、安全性および利便性に配慮している。

問合せ先：(株)加藤製作所 営業本部

〒140-0011 東京都品川区東大井 1-9-37

▶ 〈16〉高所作業車、エレベータ、リフトアップ工法、横引き工法および新建築生産システム

13-〈16〉-07	アイチコーポレーション 軌陸両用高所作業車 LK17KFE	'13.05 発売 新機種
------------	-------------------------------------	------------------

鉄道設備の保守・点検作業工事の効率化を目的に、新型軌道走行装置を装着した新機種である。

余裕のある 11t 車を採用し、作業性能と積載性能の向上を図っている。

11t 車枠の中型トラックに架装したことで、スライドジャッキや新幹線用安全装置などの特別仕様の装備を実現すると共に、車両の最大積載量は 350 kg を確保し、作業用資材や工具類の他、緊急時に使用する機材を積載できるようにしている。

新型軌道走行装置は狭軌 (軌間 1067 mm : JR 在来線などで採用) と標準軌 (軌間 1435 mm : 新幹線などで採用) の切替機構を標準で装備し軌間がどちらの線区でも使用可能であり、軌道走行時の安定性や曲線通過時の乗り心地を向上しつつ、停車作業時には複線区間の反対側電化柱へもアプローチできる広い作業範囲を確保することで作業の効率化を図っている。鉄輪には直径 410 mm の絶縁鉄輪を装着し絶縁性を向上している。

また、鉄輪のスリップを軽減するスリップ防止装置を標準装備し、発進時などのスリップ低減を図り、雨天時の走行性能を向上させている。

油圧ホース破損等、万一の非常事態が発生した場合に備え、緊急用油圧接続口を車両側面に配置し、つなぎ間違い等をなくした迅速な復旧を可能としている。

表一八 LK17KFE の主な仕様

全長×全幅×全高	(m)	6.8 × 2.3 × 3.5
車両積載	(kg)	350
作業床最大積載荷重	(kg)	200
作業床最大地上高	(m)	17.4
最大作業半径	(m)	13.3
最高速度 (軌道上)	(km/h)	40
価格	(百万円)	49.0

新機種紹介



写真—8 アイチコーポレーション LK17KFE 軌陸両用高所作業車

問合せ先：(株)アイチコーポレーション CE室
〒362-8550 埼玉県上尾市領家 1152

▶ 〈19〉 建設ロボット, 情報化機器, タイヤ, ワイヤロープ, 検査機器等

13-〈19〉-02	ワキタ 高圧洗浄機 HPW1513E	'13.09 発売 新機種
------------	------------------------------	------------------

コンクリートのレイトンスカットや、コンクリートミキサー、ダンプトラックなど土木・建設機器の洗浄から牛舎・豚舎・鶏舎の洗浄、酪農の各種プラント洗浄、畜産・農機具の洗浄と幅広い分野で使用される高圧洗浄機である。

洗浄ノズルは、先端を回転させるだけで直噴・拡散がワンタッチで切り替え、高圧ホースの延長も簡単に行える。

圧力調節用にアンローダバルブを使用することでエンジン始動がスムーズとなり、ポンプ各部の摩擦を防いでいる。また、高圧力に耐えるように減速タイプのエンジンを採用することでポンプ内部の温度上昇及びパッキンの摩耗を軽減している。

パンクの心配がないノーパンクタイヤを装備し、ハンドルを取り外すことでコンパクト化して車載も可能としている。

表—9 HPW1513E の主な仕様

	型式	ロンシンエンジン G200F-C
原動機	連続定格出力 (kW/min ⁻¹)	4.1/1800
	燃料タンク容量 (ℓ)	3.6
ポンプ	型式	3WZ-1514A
	プランジャー数 (連)	3
	連続定格圧力 (MPa)	15
	吸水量 (ℓ/min)	13
本体寸法	(mm)	W 560 × L 950 × H 750
本体質量	(kg)	39
吸い込み揚程	(m)	2.7
価格	(円)	205,800



写真—9 ワキタ HPW1513E 高圧洗浄機

問合せ先：(株)ワキタ 営業推進部
〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-3-20